



CITY & LIFE

都市のしくみと暮らし

NO. 42 WINTER 1996

42

特集 建築と木材

建築材料を考えると、この数十年、多様化・工業化は著しく進んだ。

このような状況のなかで近年、「木」が改めて注目されている。だが今日語られる木には、伝統的に使われてきた製材だけでなく、二次加工を加えることで木の欠点を補い、新たな性能を付加した木質加工材も含まれている。建築材料としての木材について探っていく。

CONTENTS

★＝編集部

| | | | |
|---------------|---------------------------|--------|-------------|
| | 建築になぜ木を使わないのか | 葉祥栄 | 2 |
| | 住生活と木 | 山口昌伴 | 8 |
| | 新・木材事典 | ★ | 14～20、29～37 |
| 〈写真構成〉 | 木造建築の広がり | ★ | 21 |
| 〈ケーススタディ〉 | 夢をかなえる、大館樹海ドーム | ★ | 38 |
| | ——地元秋田杉の集成材を使った世界最大級の木造建築 | | |
| | 木材ワールドマップ | ★ | 42 |
| 〈戦後都市論の系譜学・2〉 | 都市が見えない | なつめひろみ | 44 |
| | バックナンバーのお知らせ | | 48 |
| | INFORMATION | | 49 |